

ノ紋ヲ賜リテ付ルモノカ、又其氏族タルモノ成ベシ、

〔諸家系圖纂〕菅原美濃部菅原家、紋菊ニ斧、梅鉢

〔諸家系圖纂〕菅原前田菅原家、紋梅、輪内、秀吉之時賜、菊與桐

〔寛永系圖〕久松本國尾州 姓菅原 家紋梅鉢

〔寛永諸家系圖傳〕松平

筑後守康盛 家紋梅花

〔寛永諸家系圖傳〕二百四十八 小出

家紋額内二八の字、秀政紋、添紋一重櫻

〔寛永系圖〕大神姓藤林 家紋三本杉 左巴

〔奥州葛西實記〕文治四戊申年七月十七日、源賴朝公、奥州へ御進發、略同九月三日、御館泰衡被誅、

同十月廿四日、賴朝公鎌倉へ歸る、爰に關東下總國住人葛西三郎清重、依戰功賴朝公賜奥州五郡、

同年十一月、中旬關東を立、東海を船にて牡鹿郡石の卷へ著岸、初知入領地見之祝とて、陸地にて

酒宴を催す、酒宴半ばの事なるに、虚空より三ツ葉の柏吹下り、清重手に扣へる、盃に影うつり、席

に落清重太郎盃の臺にして、猶酒宴を祝し、目出度とて家の紋になせり、葛西の三ツ柏の紋是也、

〔山内首藤系圖〕經俊

此人ノ時マデ、紋一文字也、然而平氏餘流蜂起之時、合戰無利、而勢州佐々良島退去時、大神宮神

膳ニ備フ三角柏ヲトリテ、笠シルシニ用テ、合戰勝ケル故、柏ヲ紋ニ用之、

〔寛永系圖〕清和源氏中川 家紋二柏

〔萬世家譜〕五上吉川七郎兵衛

石田源太と申もの襲奉らんと、數百人道路へ出向ふ時、吉川父子、即時に追拂、略右源太を追拂